

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成31年 4月18日（木）

2 調査対象 第6学年児童66名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語、算数）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

上記①と②を一体的に問う。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。

算数は、おおむね全国平均と同程度でした。

（2）児童質問紙調査

成果が見られた項目

○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

課題が見られた項目

●算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。

●難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、活用力に関する問題にやや課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・「学校での学びが普段の生活に生かされていることを実感できる授業」を行います。
- ・すべての教科の授業で児童が積極的に考え、発表し、友達と意見を交換できる場を多く設定します。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願ひいたします。

○家庭学習について

- ・学年に応じた家庭学習時間の確保と、家庭学習スタンダードをもとにした家庭学習の習慣化

○読書について

- ・読書する楽しさを味わうことができるよう、家族そろっての読書の習慣化

○地域行事等への参加

- ・多くの人のふれあうことを通して、地域との結びつきを深めながら、地域の良さを実感できる機会の設定